

南小国グリーンツーリズム

訪問者：光多長温

訪問日：2012年3月26日

1. 南小国中原地区について

・熊本県南小国町中原中湯田は役場に聞いてもなかなか分かりにくい。先ず、番地がない。結局、野風ムラの河津さんに車で迎えに来ていただいた。

・中湯田集落でわざわざ番地を付ける必要がない。現在16軒（昨年1軒減少）で地域が一体となって客を迎える。

・集落では、毎月頼母子講をやり、各人1万円ずつ金を出し合い（合計24万円）、共通のものに使う。現在は各人の車検更新に使っている。

・各戸がそれぞれ技術を持っており、創造的雰囲気。例えば、豊屋、黒川温泉の入湯手形等の木製グッズ製造、喫茶レストラン、ビニールハウス、花卉（ハーブ栽培）、シイタケ作り等である。

・ツーリズム客が来ると個別の農家で対応するが、集落全体を案内して農家巡りをやって共同でもてなすことを心がけている。実際、手形作りのお宅や炭焼き窯等を案内していただいた。



2. 野風ムラグリーンツーリズム

・河津さんご夫妻と3人の子供さん、及び河津さんの母親の6人暮らし。本宅は集落内にあり、やや離れた場所に民泊の宿がある。そこは、約20年前までは約60頭位の牛を飼っていた、いわば牧場跡地である。20年前に酪農を辞め、農家民泊を始めた。建物は、母屋（食事、宿泊場所）、団体宿泊棟、陶芸棟（窯は石油窯）、ピザ焼き棟、パン焼き棟（木材でパンを焼く）、座禅棟、炭焼き棟、倉庫棟がある。これら

全てを河津さんが自分で作ったとのこと。他に、畑では無農薬米水田、ブルーベリー畑等がある。

・ご息は早朝にパンを焼き、お嬢さんはピザを（石焼き窯で）焼いて、南小国で喫茶店をやっている（後刻案内していただいた）。

・夕食は、ご夫妻と一緒に。ほとんどが自家製のもの。野菜のてんぷら、タクワン、



豆腐、刈干大根（二種類）、小国高菜、無農薬米、他に煮魚等。この家族の方と一緒に食事をさせていただき、食事や地域について会話をすることがグリーンツーリズムの原点と思った。レポートしたい気分にもなる。

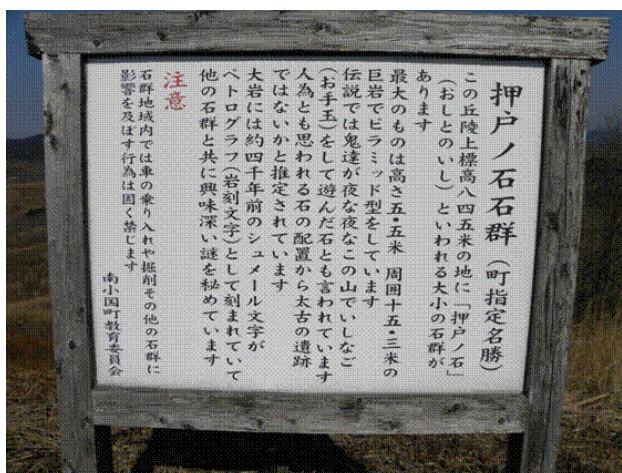
・河津さん（この地域では昔、県政の有力者の河津寅雄を始め河津姓が多い）は東京農大で農業を学んでおり、農業改革には意欲と知識を持っている。

・グリーンツーリズムによる地域興しが盛んに言われているが、野風ムラの河津さんのやり方は一つの方向ではないかと感じた。

即ち、地域協力、自らの手作りの料理、自然の生活に訪問客を溶け込ませるやり方がそれである。河津さんのお人柄が何よりである。

3. 押戸の岩

・翌日、押戸の岩を案内していただいた。最初は、古代に隕石が落下したのかと思ったが、マヤ文明に似て何らかの意識を持って石が並べられたので





はないかとも言われている。その配列が奇妙であり、かつ石にエネルギーがある。見物客が多く、歩道が荒らされている印象を持ったが、自然保護を行いつつ見ていただく工夫をすることが必要と思った。